



PRESS RELEASE

2026 年 10 月 13 日
東経連ビジネスセンター

「マーケティング・セールス戦略支援事業」の新規採択について

東経連ビジネスセンター（以下、東経連BC／会長 佐々木 裕司：（一社）東北経済連合会副会長）は、「マーケティング・セールス戦略支援事業」において、（株）宮城リスタ大川を新たに支援することとしましたのでお知らせいたします。

同社は、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県石巻市大川地区の営農復興と農業再生を目的に設立された農業法人です。石巻市が復興のシンボルとして取り組んできたオリーブ事業を承継し、高品質エキストラバージンオリーブオイル「MinoResta」の製造・販売を行っています。同商品は、青いうちに収穫した果実を手摘みし、収穫後 6 時間以内に搾油する独自製法により、酸度 0.1% 台という国際基準を大きく上回る品質を実現しています。昨年度は復興庁支援事業を活用し、東京都内の有力シェフとのマッチングを実施した結果、高い評価を獲得するとともに、一部レストランで継続購入にもつながるなど、高級レストラン市場における商品価値と市場性が確認されました。

一方で、更なる事業拡大に向けては、東京都内のトップシェフや高級レストラン市場への販路開拓、継続取引先の拡大、プレミアムブランドとしての認知度向上が課題となっています。今回の支援では、これらの課題解決に向け、トップシェフ市場を対象としたマーケティング戦略の策定や販路開拓支援に加え、有力シェフによる現地収穫体験・搾油視察等を通じたブランド価値向上に取り組めます。これにより、高付加価値商品の販売拡大と収益基盤の強化を図るとともに、震災復興を契機としたオリーブ事業を持続可能な地域産業へと発展させることを目指します。

東経連BCでは、本支援を通じて地域の「稼ぐ力」の向上を図るとともに、東北発の地域ブランド創出と地域経済の活性化に貢献してまいります。なお、本支援事業の採択件数は、2011 年度の支援開始以来、今回の 1 件を加え累計 52 件となります。

記

支援先	支援テーマ	所在地
株式会社 宮城リスタ大川	復興のシンボルとしてのオリーブオイルの トップシェフ向け販売支援	宮城県 石巻市

■(株)宮城リスタ大川（宮城県石巻市/取締役 大槻 幹夫 氏）

- ・ 支援テーマ：復興のシンボルとしてのオリーブオイルのトップシェフ向け販売支援
- ・ 支援期間：令和8（2026）年10月～令和9年（2027）年9月末
- ・ 支援先概要：

東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市大川地区の営農復興および農業再生を目的として2013年に設立された農業法人。水稻および園芸事業を中心に展開するほか、石巻市が復興のシンボルとして推進してきたオリーブ事業を2021年に農事組合法人みのみりと共同で承継し、高品質エキストラバージンオリーブオイル「MinoResta」の製造・販売を行っています。



オリーブ収穫の様子



搾油作業の様子

・ 支援内容：

今回の支援では、昨年度の復興庁での支援事業成果をベースに、主に以下の取組みを実施します。

① マーケティング戦略支援

- ・ 昨年度の実績を踏まえた訴求ターゲット（世界最大のトップシェフ市場＝東京のイタリアン・フレンチ・和食等のトップシェフ）の深掘り

② セールス戦略支援

- ・ 上記高級レストランへの販路開拓と継続購入に向けたフォロー
- ・ 有力シェフによる現地収穫体験・搾油視察の実施を通じたブランド・ロイヤルティ醸成（アンカリング）

これらの取組みにより、高級レストラン市場における採用拡大と継続取引先の確立を図るとともに、「MinoResta」のプレミアムブランドとしての認知度向上を目指します。また、震災復興を契機として生まれたオリーブ事業を、石巻を代表する持続可能な地域ブランドへと発展させることで、地域経済の活性化や新たな高付加価値農業モデルの創出につなげてまいります。



高品質エキストラバージンオリーブオイル「MinoResta」

以 上

■リリースに関するお問い合わせ先**東経連ビジネスセンター 佐藤 健智**

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10 セントレ東北11階
（一般社団法人 東北経済連合会 事務局内）
tel. 022-397-9098 fax. 022-262-7055
<http://tokeiren-bc.jp/>

（株）宮城リスタ大川 山崎 菊治（総務班長）

〒986-0115 石巻市福地字大正19-1
tel. 0225-25-6710 fax. 0225-25-6820
<https://san-riku.jp/mrisuta/>
<https://minoresta.stores.jp/>



<参 考>

Ⅰ.過去の支援案件の紹介

※過去支援事業の「マーケティング・知的財産事業化支援事業」および「マーケティング・成長戦略支援事業」を踏襲

①斎藤マシン工業(株)(山形県天童市/代表:阿部 光成 氏)

- ・支援テーマ : コンパクトな植物油用濾過装置のセールスおよびマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 23 年 7 月～平成 24 年 6 月

②(株)フラワート(秋田県由利本荘市/代表:嶋 真紀子 氏)

- ・支援テーマ : 世界初の“ジュエリング・フラワー (宝飾花)” のマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 1 月～12 月

③(株)四季菜(秋田県秋田市/代表:高橋 真木夫 氏)

- ・支援テーマ : 秋田産米粉を使ったスイーツの商品開発およびマーケティング戦略支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

④(株)味の加久の屋(青森県八戸市/代表:野田 一夫 氏)

- ・支援テーマ : 震災復興に向けた水産加工品のマーケティング戦略支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

⑤あおもり藍産業協同組合(青森県青森市/代表理事:吉田 久幸 氏)

- ・支援テーマ : 独自の染料化技術を核とするあおもり藍ブランド商品の開発およびマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月

⑥齋栄織物(株)(福島県伊達郡川俣町/代表:齋藤 泰行 氏)

- ・支援テーマ : 世界一薄い絹織物「妖精の羽(フェアリー・フェザー)」を使用した製品開発とブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月

⑦武輪水産(株)(青森県八戸市/代表:武輪 俊彦 氏)

- ・支援テーマ : 「鯖スパイシーマリネ」新規販路開拓支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月

⑧(株)佐渡乳業(新潟県佐渡市/代表:高橋 一五(かずゆき)氏)

- ・支援テーマ : ナチュラルチーズ&デザート在全国ブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 4 月～平成 26 年 9 月

⑨アンデックス(株)(仙台市青葉区/代表取締役社長:三嶋 順 氏)

- ・支援テーマ : ソフトウェアパッケージ「SMART-Transport」の販売支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

⑩久慈琥珀(株)(岩手県久慈市/代表取締役社長:向 正彰 氏)

- ・支援テーマ : 久慈琥珀(株)のブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 7 月～平成 26 年 6 月



⑪(有)二唐刃物鍛造所(青森県弘前市/代表取締役社長:吉澤 俊寿 氏)

- ・支援テーマ : 作刀技術・和包丁の海外向け新ブランド戦略支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月

⑫(株)川喜(岩手県釜石市/代表取締役社長:川端 力 氏)

- ・支援テーマ : アルコールフリーで保存可能な“ヘルシー生そば”のブランド戦略支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月

⑬農業生産法人(有)今野醸造(宮城県加美郡/代表取締役社長:今野 昭夫 氏)

- ・支援テーマ : 仙台味噌を用いた新しい調味料開発とそのブランド戦略支援
- ・支援期間 : 平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月

⑭(株)大武ルート工業(岩手県一関市/代表取締役社長:太田 義武 氏)

- ・支援テーマ : 「自動ネジ供給機」の販売網再構築と新規販路の開拓
- ・支援期間 : 平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月

⑮(有)峰の雪酒造場(福島県喜多方市/代表取締役社長:佐藤 利也 氏)

- ・支援テーマ : 蜂蜜酒「AIZU MEAD (アイズ・ミード)」のブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 26 年 1 月～平成 27 年 3 月

⑯マルニ食品(株)(宮城県登米市/代表取締役:二階堂 玲子 氏)

- ・支援テーマ : 宮城県産小麦品種「あおばの恋※2」による新商品開発支援
- ・支援期間 : 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

⑰合同会社ナチュール青森(青森県青森市/代表社員CEO:工藤 真義 氏)

- ・支援テーマ : 青森の厳選食材を使用したスイーツブランド
- ・支援期間 : 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

⑱(株)今井産業(青森県平川市/代表取締役:今井 公文 氏)

- ・支援テーマ : 青森県産材の杉・りんご樹の端材を活用した木質新素材「e・Wood +」の知的財産事業化支援
- ・支援期間 : 平成 26 年 7 月～平成 27 年 6 月

⑲(株)宮城化成(宮城県栗原市/代表取締役:小山 昭彦 氏)

- ・支援テーマ : 不燃性・光透過性を有する新規複合材のマーケティング
- ・支援期間 : 平成 26 年 7 月～平成 27 年 6 月

⑳非公開

㉑(有)みちのく福島路ビール(福島県福島市/代表取締役:吉田 重男 氏)

- ・支援テーマ : 福島県産原料等を使用した地ビールのマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 26 年 10 月～平成 27 年 9 月

㉒(株)杉田味噌醸造場(新潟県上越市/代表取締役:杉田 文子 氏)

- ・支援テーマ : 伝統と技術を活かした味噌製品のリニューアルと新製品開発によるマーケットブランドの事業化
- ・支援期間 : 平成 27 年 1 月～平成 28 年 12 月



②③大島グループ(株)宇喜世ほかグループ企業 10 社(新潟県上越市/代表:大島 誠 氏)

- ・支援テーマ : 北陸新幹線着地マーケットに対する「百年料亭宇喜世」を核にした地域産品・観光回遊の事業化
- ・支援期間 : 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

②④農業生産法人(有)伊豆沼農産(宮城県登米市/代表取締役社長:伊藤 秀雄 氏)

- ・支援テーマ : 地域資源を活用した伊豆沼食農体験ファーム新事業展開支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

②⑤(株)いわきチョコレート(福島県いわき市/代表取締役:柳沼 大介 氏)

- ・支援テーマ : めひかり塩チョコなど既存商品販路の再構築戦略と販路ターゲットを明確にした新商品の開発支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

②⑥佐渡乳業(株)(新潟県佐渡市/代表取締役社長 竹内 秀明 氏)

- ・支援テーマ : 農場ナチュラルチーズの直販体制の強化とブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

②⑦久慈琥珀(株)(岩手県久慈市/代表取締役社長 向 正彰 氏)

- ・支援テーマ : リファインド・アンバー(精製琥珀)による新製品デビューを機にしたブランディング支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

②⑧(株)磐城高箸(福島県いわき市/代表取締役 高橋 正行 氏)

- ・支援テーマ : おめでた箸および派生製品のブラッシュアップと拡販支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

②⑨(株)ツガルサイコー(青森県黒石市/代表取締役 福士 拓弥 氏)

- ・支援テーマ : 津軽の観光資源を活用した外国人観光客の誘客支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

③⑩中村物産(有)(宮城県仙台市/代表取締役 中村 拓造 氏)

- ・支援テーマ : 地盤置換工法「コロンブス」マーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

③⑪IMTエンジニアリング(株)(新潟県妙高市/代表取締役 富田 ゆきし 氏)

- ・支援テーマ : 「妙高ゆきエビ」のマーケティング戦略およびブランド構築支援
- ・支援期間 : 平成 28 年 8 月～平成 29 年 7 月(12 カ月)

③⑫(株)ティ・ディ・シー(宮城県宮城郡利府町/代表取締役社長 赤羽 優子 氏)

- ・支援テーマ : 超精密研磨技術の加速器分野への展開を目指すマーケティング支援
- ・支援期間 : 平成 29 年 1 月～平成 29 年 12 月(12 カ月)



③③(株)シオン（岩手県紫波郡矢巾町/代表取締役 石川 公一郎 氏）

- ・支援テーマ：世界初・塗るだけで防炎塗膜化する木部専用国産自然塗料のマーケティング支援
- ・支援期間：平成29年4月～平成30年3月（12カ月）

③④まるい食品(株)（山形県鶴岡市/代表取締役社長 伊藤 久美 氏）

- ・支援テーマ：山形県産こんにゃく芋をまるごと使った新スタイルこんにゃくデリカのシリーズ開発と販売に向けた事業化支援
- ・支援期間：平成30年1月～平成30年12月（12カ月）

③⑤(株)空地音ハーモニー（宮城県仙台市/代表取締役 菊池 美鷗 氏）

- ・支援テーマ：世界遺産を核としたプレミアムウェディング・ツーリズム『みちのく和婚®』のコーポレートブランディングと連携・波及事業化
- ・支援期間：平成30年5月～平成31年4月（12カ月）

③⑥(有)三陸とれたて市場（岩手県大船渡市/代表取締役 八木健一郎 氏）

- ・支援テーマ：「三陸の海産物の美味しさを封じ込め」安定して届ける取組み～地域の稼ぐ力を高める付加価値型のビジネスモデルの提案～
- ・支援期間：令和元年9月～令和2年8月（12カ月）

③⑦(株)アクトラス（秋田県横手市/代表取締役 眞田 慎 氏）

- ・支援テーマ：医理工連携プロジェクト「患者見守りシステム」の普及拡大～秋田県が抱える課題解決に向けた取組みから開発された新システムを全国に広める～
- ・支援期間：令和2年2月～令和3年1月（12カ月）

③⑧(株)肉のふがね（岩手県岩手町/代表取締役 府金 伸治 氏）

- ・支援テーマ：希少銘柄「いわて短角牛」の高付加価値化および地域と連携した稼ぐ畜産モデルの構築
- ・支援期間：令和2年4月～令和3年3月（12カ月）

③⑨元正榮北日本水産(株)（岩手県大船渡市/代表取締役社長 古川 季宏 氏）

- ・支援テーマ：国内最大級養殖場での「クリーン海水掛け流し」＆「無添加飼料」による極上エゾアワビ ～三陸発・完全陸上養殖システムを活かした“安心・安全・安定”リテール供給事業～
- ・支援期間：令和2年7月～令和3年6月（12カ月）

④①上越ケーブルビジョン(株)（新潟県上越市/代表取締役社長 齋藤 俊幸 氏）

- ・支援テーマ：東京交通会館への全国初民間直営アンテナ ショップ『雪國商店』新設を核とした「放送通信 事業＋地域商社」による上越妙高地域産品の 首都圏ダイレクト販売ビジネスモデルの確立
- ・支援期間：令和2年11月～令和3年12月（14カ月）



④①(株)カネク醸造(青森県八戸市/代表取締役社長 山形 琢一 氏)

- ・支援テーマ：モノづくり産業から食産業へ、第二創業＝「地域連携・資源活用」による八戸初のクラフトビール開発とブランド確立
- ・支援期間：令和3年7月～令和4年6月（12カ月）

④②(有)ファーム・ソレイユ東北(宮城県石巻市/代表取締役 日野 雅晴 氏)

- ・支援テーマ：地域連携・事業継承・自社工場新設による商用北限・桃生茶の和紅茶全国展開
- ・支援期間：令和4年4月～令和5年3月（12カ月）

④③(株)亀山鉄工所(宮城県仙台市/代表取締役 平川 章 氏)

- ・支援テーマ：宮城バリューチェーンによる非接触型三次元ボールミル&シェーカー「HYPER SHAKER」の新事業開発
- ・支援期間：令和4年4月～令和5年3月（12カ月）

④④(株)グリーディー(宮城県仙台市/代表取締役 濱出 理加 氏)

- ・支援テーマ：地産地消から地産来消・地産外商へ～東北素材を活用したアメニティ新事業ブランディング
- ・支援期間：令和5年10月～令和6年9月（12カ月）

④⑤(株)ミューラボ(福島県福島市/代表取締役社長 伏見 雅英 氏)

- ・支援テーマ：小型精密減速機の成熟市場に「堅牢・高トルク」のブランディングで風穴を開ける
- ・支援期間：令和6年1月～令和6年12月（12カ月）

④⑥(株)山形ミートランド(山形県寒河江市/代表取締役 大沼 幸仁 氏)

- ・支援テーマ：高品質交雑牛「幸生牛」の中華圏等への展開に向けた輸出トライアル支援
- ・支援期間：令和6年7月～令和7年6月（12カ月）

④⑦ハリウコミュニケーションズ(株)(宮城県仙台市/代表取締役 針生 英一 氏)

- ・支援テーマ：レーザーカット付加価値商品の自社ブランド開発による次世代新事業の確立
- ・支援期間：令和7年3月～令和8年2月（12カ月）

④⑧大島グループ(新潟県上越市/代表 大島 誠 氏)

- ・支援テーマ：上越の“稼ぐ力”を上げる！地域連携による滞在型観光交流エリア「浄興寺大門通りスクエア」事業開発
- ・支援期間：令和7年4月～令和8年3月（12カ月）

④⑨(株)アルファテック(山形県米沢市/代表取締役 駒井 雄一 氏)

- ・支援テーマ：製菓・製パン市場におけるグルテンフリー・定番アルファ化米粉の地位獲得に向けた『Amorfast(アモルファスト)®』米粉早期ブランド化
- ・支援期間：令和7年10月～令和8年9月（12カ月）



⑤⑩(株)平野屋(山形県長井市/代表取締役社長 平 浩一郎 氏)

- ・支援テーマ：山形名物「玉こんにゃく」の新ブランド開発とデファクトスタンダード化を目指す
- ・支援期間：令和8年3月～令和9年年2月（12カ月）（予定）

⑤⑪(一社)先行くローカル Joetsu(新潟県上越市/代表理事 庄山 武志 氏)

- ・支援テーマ：地域連携による滞在型観光交流エリア「上越高田浄興寺大門通りスクエア」事業開発
- ・支援期間：令和8年7月～令和9年6月（12カ月）（予定）（観光事業特別支援枠：1年毎に審査会で確認を実施し、最長3年まで継続可能）

II. 東経連ビジネスセンターの概要(平成23年4月設立)

1. 目的

東北7県の産学官＋金融が総力をあげて、新しい東北「産学官グローバル・イノベーション・ゾーン東北の創生」に取り組み、東北の高い技術力や優れた地域資源を活かして新製品開発等に挑戦し、雇用増等、地域経済にインパクトを与え、成長モデルとなり得る企業・事業の創出を図る。

2. 活動期間 15年間（平成23年4月～令和8年3月）

3. 組織形態 東北6県および新潟県の支援機関、大学研究機関、大手企業を会員とする任意団体

4. 活動経費 年間1億円程度

5. 事務局所在地 東経連事務局内（宮城県仙台市）

6. 主な事業内容

- (1) 国際競争力の高い地域イノベーション拠点の形成強化
- (2) 産学官金共創・デジタル化による成長促進
- (3) 世界最先端研究開発プロジェクト（放射光、ILC等）の誘致を契機とした次世代に繋がる新産業の創造

III. マーケティング・セールス戦略支援事業

1. 概要

本事業は、成長志向を有する東北6県および新潟県の企業・団体等に対し、マーケティングおよびセールス戦略に関する専門的支援を行うことにより、地域の「稼ぐ力」の向上および新規事業・新産業の創出を目的とする支援制度です。

支援は、専門家による事前ヒアリングを経て、統合マーケット戦略会議において採択の可否を決定し、採択後は課題に応じた専門家チームを編成して伴走型で支援を実施します。



2. 支援区分

事業の成熟度や課題に応じて、以下の区分で支援を実施します。

(1) Pre 支援

本支援への移行を見据えた準備・検証段階の支援

(2) 本支援

マーケティング・セールス戦略の本格的な構築・実行支援

(3) 観光事業特別支援枠（本支援の特例）

観光事業の特性に対応した中長期支援制度

3. 対象事業

東北地域の産業競争力向上に資する以下のような事業を対象としています。

- ・ 農林水産業、観光、伝統産業等の連携による地域ブランド創出
- ・ 新規性・優位性のある製品・技術を有するものづくり事業
- ・ 異業種連携による新たな価値創出
- ・ 大学等の研究シーズの事業化
- ・ デジタル化・DX 推進による新事業創出 等

4. 主な支援内容

事業課題に応じ、以下7分野から最適な支援チームを編成します。

- ① マーケティング戦略立案・実行支援
- ② ブランディング支援
- ③ 営業販促ツール・ホームページ強化支援
- ④ セールス戦略支援（販路開拓等）
- ⑤ 知的財産戦略支援
- ⑥ 法務支援（契約等）
- ⑦ ファイナンス戦略支援

なお、これら支援に係る専門家費用（調査費・デザイン費等）は、一定額まで当センターが負担します。

5. 支援期間・支援額

- ・ Pre 支援：最大 12 か月、上限 100 万円
- ・ 本支援：12 か月、上限 200 万円

6. 観光事業特別支援枠の特徴

観光事業は、関係者が多く成果創出までに時間を要する特性を有するため、本支援の特例として以下の仕組みを設けています。

- ・ インバウンドや富裕層等をターゲットとした観光事業を対象
- ・ ブランディング、PR、商品設計等のマーケティング・セールス支援を重点実施
- ・ 1 年単位で最長 3 年間の継続支援が可能（年 200 万円×最大 3 年）
- ・ 毎年度、統合マーケット戦略会議において進捗・成果・事業者意欲を評価し継続可否を判断



- ・ 複数事業者・団体による共同申請が可能（幹事企業による意思決定体制を必須）

7. 本事業の特徴

本事業は、単なる助言にとどまらず、専門家チームが実行段階まで伴走する「実効性の高い支援」である点に特徴があります。

- ・ 事業課題に応じた専門家チームを個別編成
- ・ 調査・販促ツール開発等の実費をセンターが支援
- ・ 公的支援制度との併用による相乗効果が可能
- ・ 中長期的な視点で地域の成長モデル創出を支援

このような仕組みにより、東経連ビジネスセンターは、地域資源を活用した高付加価値事業の創出と、東北・新潟地域全体の持続的成長を後押ししています。